

本園の教育目標	子ども一人ひとりをかけがえのない存在として尊び、その内側から湧き上がる主体的な遊びや探究の思いを大切に育む。遊びを通して多様な経験と人との関わりの中で、豊かな感性、思いやりの心、自ら考え行動する力を養い、「ゆたかに生きる力」（人格形成）と「学ぶ力」（知的発達）の調和ある成長を目指す。 教師は、子ども一人ひとりの発達と個性に丁寧に寄り添いながら、適切な環境維持と援助を通して、その可能性を豊かに引き出す。幼児期に経験し学ぶべき基本的な力を確かなものとし、変化の大きいこれからの社会を自分らしく歩み、人と共に生きることのできる人格の基礎を培う教育を実践する。 また、創立以来受け継がれてきた精神を礎として、家庭・地域・教会とのつながりを大切にしながら、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支える。			
重点目標	活動内容	成果	課題	次年度への方向性
【教育課程の視点】 本園の教育目標にそって、以下の10項目の内容を、子ども一人ひとりに向き合いながら育んでいく。 (1) 健康な心と体 (2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え (5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重 (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い (10) 豊かな感性と表現	・子どもたち一人ひとりの「遊び」を中心とした生活の中で、左記10項目との結びつきを捉え、それを育むことを教師たちが支える教育を実践する。 ・各月、各週の教案を作成し、日々の実践に照らし合わせて、振り返りと評価、改善、課題抽出を行う。 ・職員会議では、一人ひとりの子どもの様子や保育の方法・課題について、クラスを横断した建設的な意見交換を行う。			
【保護者連携の視点】 ・「みどり幼稚園月報」の発行 ・アンケート（最近1カ月の子どもの様子）の実施（毎月一回） ・保護者会の開催	・毎月発行する「みどり幼稚園月報」によって日々の保育の姿を発信する。 ・毎月のアンケート（最近1カ月の子どもの様子）を実施し、得られた回答を教師間で共有するとともに、本園の教育内容の過不足を分析・検証することで教育の質の向上を目指す。 ・クラスごとの保護者会を月例で行う中で、新たな試みとして3クラス合同の保護者会を行うことで、クラス間の縦のつながりと園全体の視点から導かれる課題点などを抽出する。			
【研修の視点】 ・園内研修として、各学期ごとに振り返りを行い、成果と課題を抽出し、次学期・次年度の取り組みの質向上を目指す。 ・長期休業時期に各個人において設定した自己研鑽の目標に関わる研修を受講し、レポート等を用い、成果の職場内共有を図る。	（それぞれの研修テーマ） ・園長：幼稚園経営、保育全般の知識向上 ・副園長：組織運営と人材育成、保育の質向上、技能の向上 ・教諭：保育の質向上、技能の向上			
目標・計画の評価（4月～6月）				
当園は本年度から「子ども・子育て支援新制度」における施設型給付費を国・自治体から受ける幼稚園として認定をされ、新たな幼稚園運営を始めています。その新制度への対応の中で、この学校自己評価の公表は義務付けられています。初年度のため、上記三つの視点からそれぞれの目標と計画を立てました。「教育課程の視点」については、幼稚園教育要領に準拠した幼児期の終わりまでに育ってほしい姿に準拠した目標です。「保護者連携の視点」については、従来のコミュニケーションからさらに踏み込んだ形を模索しながら実践をしようという目標になります。「研修の視点」については、管理職を含めた教員のキャリアパス向上に重点を置いた目標を設定しています。				
総合的な評価結果（通年）				

※ホームページによる評価公表は本年度から始めています関係上、本年度は「目標・計画」の公表と「総合的な評価結果」の2回に分けた公表を行います。